



新年の御挨拶

群馬県教育委員会

教育長 吉野 勉

明けましておめでとうございます。
群馬県ユネスコ連絡協議会の皆様におかれましては、清々しい新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

さて、県内のユネスコ活動を概観してみますと、昨年九月、「上野三碑（こずけさんび）」が、ユネスコ記憶遺産の国内候補に選定されたことは、まずもって慶すべきことと申せましょう。関係者のみならず全ての群馬県人にとって、大変喜ばしい、うれしいニュースでありました。

釈迦に説法で、ユネスコ連絡協議会の皆様に申し上げるべきことではないかも知れませんが、ユネスコ記憶遺産とは「手書き原稿や、書籍、ポスター、図画、地図、音楽、写真、映画等の記録遺産を対象に、世界的重要性を有する物件をユネスコが認定・登録する事業」であります。二〇一五年末までに登録されている記憶遺産は、合計三百四十八件。日本の遺産は「山本作兵衛による筑豊炭鉱の記録画」（二〇一一年登録）、「慶長遣欧使節関係資料」（二〇一三年登録）、東寺百合文書（二〇一五年登録）など、五件となっています。今回、本県の「上野三碑」は、日本のシンドラーと呼ばれる杉原千畝の「杉原リスト」とともに、二〇一五年の

ユネスコ国内委員会で、重要な「記録」（ドキュメント）と言つて良いかも知れません」として国内候補とされたのです。では、この上野三碑が持つている世界的な重要性とはどんなものなのでしょうか。

御承知のとおり、上野三碑は「山上碑（やまのうえい）」「多胡碑（たごひ）」「金井沢碑（かないざわひ）」（いずれも国指定特別史跡）の総称で、今から約千三百年前、七世紀から八世紀にかけての建立です。高崎市吉井町と山名町の狭い範囲に近接しているという、特異な集積性も目を引きます。

上野三碑の一つ、「山上碑」は、六八一年に放光寺（前橋の山王廃寺と考えられています）の僧、長利が、亡き母、黒壳刀自（くろめとじ）を供養するために建立したものです。完全な形で現存する石碑で日本最古という価値に加え、碑文の漢字が日本語の語順で記され、漢字文化と仏教信仰が日本の古代社会に根付いていく様子をうかがい知ることができ非常に貴重な史料とされています。

一方、「多胡碑」は、七二一年に多胡郡の建郡を記念して建てられた石碑で、政府との関係や地域社会の様子が分かることに加え、碑文の楷書文字の美しさか

ら拓本が後に中国に渡るなど、漢字文化の交流の証左という意味も持っています。

そして、「金井沢碑」は、七二六年に三家氏を名乗る豪族が、先祖の供養と一族の繁栄を祈つて建てた石碑です。碑文からは、家族のつながりに女性が大きな役割を果たしていたこと、当時の国郡郷里制の整備状況が分かることなど、古代東国での仏教の広がり、家族関係、行政制度の実態などを知ることができます。

それぞれの碑は形や建立の目的こそ違うものの、そこに刻まれた内容からは、中国起源の政治制度や漢字文化とインドでたどり着き、それがさらに上野国にまで多数の渡来人の移動とともに伝来して、地元の人々に受容され、広まっていたことが分かります。上野三碑は、それを証明する「記録」であり、東アジアにおける文化交流の実像を示す極めて重要な歴史資料なのです。

私たちには、先人がそうして来たように、この石碑に刻まれた貴重な記録を守り、後世に伝えていく責任があります。今後、ユネスコ記憶遺産に登録されれば、その保存継承の活動にも大きな弾みがつくものと期待しているところです。

ところで、二〇一六年がユネスコにとっていかなる年なのかを調べていたところ、「国際文化協力原則の宣言（一九六六年第十四回総会採択）から五十年」という記述に出会いました。「ユネスコ活動二十年の経験を踏まえて作成

された国際文化協力のガイドライン」と位置づけられていることと、国際文化協力の主体となる政府当局、国際機構、民間組織などが留意すべき諸原則が十一項目にまとめられています。この宣言の第一条第三項が、今回の上野三碑のユネスコ記憶遺産登録を思い起こさせるものでした。

それは、「豊かな多様性とお互いに働きかける相互主義的な影響において、すべての文化はすべての人類に所属する共通の遺産の一部である」というものです。この理念が半世紀を経て、廃れるどころか輝きを増していることに驚かされました。

上野三碑は、群馬県のアイデンティティにも関わる古代東国文化の象徴とも言えるものです。そして、ユネスコ国内委員会による上野三碑の登録申請は今年五月が予定されています。

群ユ協会員の皆様におかれましては ESD の普及、学校に対するユネスコスクールへの登録推進など、さまざまな取組をいただいています。今年はそのような取組に加えて、正念場を迎える上野三碑のユネスコ記憶遺産登録に、皆様のさらなるお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

あわせて、本年も県政、県教育行政へのより一層の御協力をお願い申し上げますとともに、皆様の今年一年の益々の御健勝と御活躍を祈念申し上げます。新年の御挨拶といたします。